

個体番号	足輪	来有田家日	体重	備考
------	----	-------	----	----

右ピンク		7/10/1999		
左赤		ibid		
左茶		ibid		

日付	時刻	食べた量	食べさせ人	備考
----	----	------	-------	----

7/10 (土)



豆アジ、イワシを購入。1パック 200, 300円。風呂場が我家。早速、シャワー浴。ドライヤーで乾燥。

7/11 (日)

イワシは食べない。1日1パックのペース。家計の破綻か。風呂場の清掃が苦勞。人間様のシャワー時には、蓋をしてサギを隠す。

7/12 (月)

森村氏に電話で日光浴用ケージ頼む。

7/13 (火)

森重さんから 大きい錆びたケージを借りる。

7/14 (水)

ケージの周囲を 網戸用の網で覆う。サギの嘴保護のため。このケージをベランダに置く。今日からこの屋外ケージが我家。風呂場解放に成功。シャワー浴、ドライヤー乾燥。

7/15 (木)



赤が足輪をはずした。ピンクが時々いじめの対象。缶詰コロギは食べていない模様。

7/16 (金)

2時間毎に ケージの下に敷いてあるプラスチック波板への 水かけが結構な労働。ふん尿を始末するためである。下に落ちた 魚を拾うのも日課(時課?)。最近1日に1.5パックの豆アジを食べる。

7/17 (土)



生きているキンギョ4匹を水槽ごと入れた。しばらくピンクが水を飲んでようすをうかがう。その間に別のが食す。そして全員で競争し取り始めた。このキンギョは露天風呂のナマズ用である。もったいない。食べると分かれば、もうやめである。

7/18 (日)

午後からセンターで 第2回 野生動物リハビリテーター養成講座を聴く。帰りに、長期飼養としてカラスのカータローを預る。悲しいことに 帰宅直前に息を引き取る。センターでは、サギの飛行訓練小屋を作っていた。我家のサギもこの小屋に入れてもよいとのこと。

7/19 (月)

昼間は死んだかと思わせるかっこうで寝ることもある。畳の上に脚を伸ばして座り、まっすぐ体を前に倒し脚に密着させている。夜は立ったまま寝る。

7/20 (火)

祝日。正午前に3羽サギをセンターに返す。重量を測る。400~500g程度ある。特設小屋に入れてもらうと、ピンクが羽をパタパタ振ってうれしそうである。種類判明。ピンクがアマサギ、他がコサギとのこと。